

シリーズ ガク活

今月から、シリーズ「ガク活」と題して、各小中学校の特色ある取り組みを紹介し、第1回は、上庄小学校と開成中学校の取り組みを紹介し、

問 教育総務課 (☎64・4827)

未来に向かってたくましく生きる上庄っ子 ～ 勉強大好き、ふるさと大好き、自分も友達も大好き～

上庄小学校では、子どもたちが通って楽しい学校、保護者が通わせたい安心安全な学校、地域住民が地域の誇りに思える学校を目指して、笑顔あふれる取り組みをしています。

●農業体験活動で自然と食の大切さを学んでいます

毎年、校内の農園で農作物を育てています。サトイモやサツマイモ、もち米など、学年ごとに異なる農作物を育て、給食で食べたり販売したりしています。本年度は、新たに4年生が肥料作りに取り組む予定です。



●麻那姫伝説をテーマに学んでいます

4年生は、上庄地区に伝わる麻那姫伝説をテーマに学習します。麻那姫像のあるダムを見学したり、伝説を基に作られた麻那姫音頭を練習したりします。



ずっと住み続けたいまちに～開成中学校ができること～

開成中学校では、毎年、地域の人々の力を借りながら、神社や本願清水イトヨの里などの清掃ボランティアや朝のあいさつ運動、亀山の桜の保全活動などを行っています。



「あいさつの開成」の伝統継承のため、学校を飛び出し、街頭で朝のあいさつ運動をしています。



「善意銀行」という委員会で、神社や公共施設の清掃ボランティアをしています。



保護者と生徒が協力して、大野のシンボルでもある亀山の桜を保全、整備しています。



この大会は **スポーツLIFE** **COLO** **BIG** の助成を受けて開催しています

交通規制や感染症対策にご協力をお願いします。 第58回越前大野名水マラソン 県民マラソン大会

5月22日(日)午前8時30分市役所前スタート

大会当日は、コース沿線の交通規制や新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

◆交通規制

大会当日は市役所周辺や三番通り、かえで通り、こぶし通り、国道158号などで、コースおよびコース周辺の車両の通行を禁止します。そのため、バスの運休、路線やダイヤの変更・遅れなどが予想されます。市役所時間外窓口を利用する人は、義景集会所の前の道を通り、結とびあ裏の大会関係者駐車場に駐車してください。

◆新型コロナウイルス感染症対策

大会会場の密集を避けるため、入場は参加者、保護者または付添者(1人まで)、運営スタッフなど、関係者のみとします。市役所前の三番通り歩道などでの応援も禁止します。

沿道で応援するときは必ずマスクを着用し、密集を避けてください。また、大声での声援は避け、拍手などで応援をお願いします。

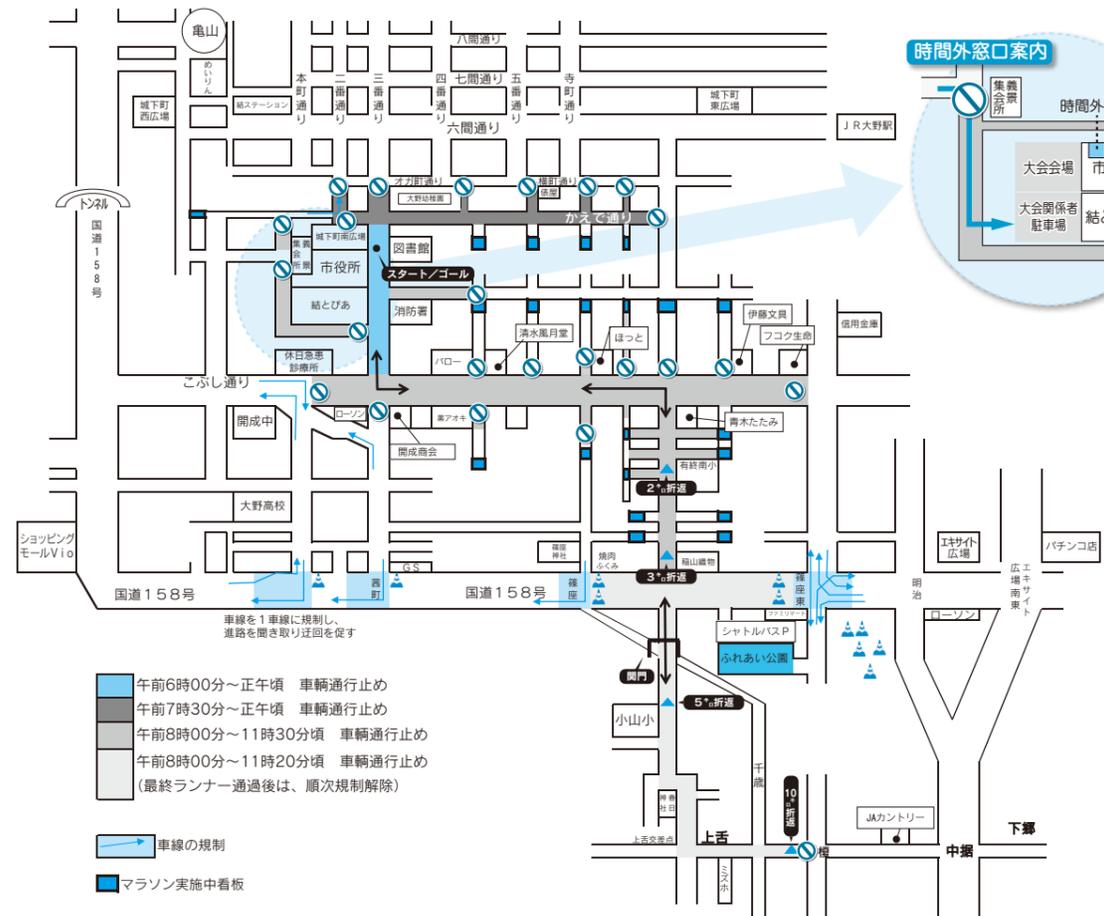
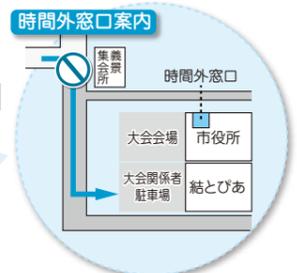
問 スポーツ推進課 (☎65・5592)

◆まちなか循環バス一部運休

大会当日の午前中、まちなか循環バスを運休します。午後は通常どおり運行します。

問 交通住宅まちづくり課 (☎64・4815)

ご協力をお願いします



- 午前6時00分～正午頃 車輛通行止め
- 午前7時30分～正午頃 車輛通行止め
- 午前8時00分～11時30分頃 車輛通行止め
- 午前8時00分～11時20分頃 車輛通行止め (最終ランナー通過後は、順次規制解除)

車線の規制
マラソン実施中看板

注意
大会参加者や運営スタッフなどの関係者以外は会場内に入場できません

成人式は20歳のつどいに 実行委員 募集中

成年年齢が18歳に引き下げられたことに合わせ、成人式を「20歳のつどい」に改めて開催します。また、令和4年度の「20歳のつどい」開催に向け、イベントを企画運営する実行委員を募集します。

20歳のつどい

- 開催日** 令和5年1月8日(日)
- 対象者** 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの人(満20歳になる人)
- その他** 会場や時間など詳しくは11月ごろに対象者に案内します

実行委員の募集

- 対象者** 20歳のつどいに出席予定の人
- 活動内容** 6月から9月、2回程度の会議(オンライン可)を行い、アトラクションの内容などを企画します。当日は、アトラクションの進行など、行事の運営に当たります
- 応募方法** 住所、氏名、生年月日、電話番号を添えて電話、電子メールまたは専用フォームから申し込む
- 応募締切** 6月10日(金)
- ☎** 生涯学習・文化財保護課 (☎65・5590)
- ✉** 電子メール shobun@city.fukui-ono.lg.jp



▲申し込みはこちら



アウトドアを通じて楽しく防災を学ぼう！ 結の防災キャンプ開催

参加申し込みはこちら▶



1泊2日のキャンプを通じて防災のことを楽しく学ぶ「結の防災キャンプ」を開催します。家族や友人と気軽に参加してください

- 日時** 6月25日(土)午後1時～6月26日(日)午前10時
- 場所** 旧蕨生小学校(大野市蕨生126-32)
- 内容** テントでの宿泊、炊き出し体験、地震体験、防災講演会、朝ヨガ など
- 対象** 市内在住の20～40代(親子での参加可能)
- 定員** 100人(先着)
- 参加料** 500円(保険料含む)※中学生以下は無料
- 申込方法** 専用フォームから申し込む
- 申込期限** 6月6日(日)
- ☎** 防災防犯課 (☎64・4800)

魅力満載の9日間 九頭竜まるごと体験マルシェ ～春のWEEK～

中部縦貫自動車道大野油坂道路の和泉IC(仮称)が令和5年春に開通することを見据え、本年から九頭竜新緑まつりに代わる新たなイベントが登場します。

和泉地区全域を会場に、毎年恒例の山菜や野菜の販売はもちろん、九頭竜湖でのボートやポタリング、ヨガ、スツール作り、アマゴやイワナなどの放流体験と釣り教室、化石発掘などの体験が楽しめます。

ぜひ遊びに来てください。

- 期間** 5月14日(土)～22日(日)
- 場所** 道の駅九頭竜、パークホテル九頭竜 ほか
- その他** 各イベントの日程など詳しくは道の駅九頭竜のホームページを確認してください
- ☎** 九頭竜マルシェ実行委員会 (☎78・2300)



▼詳しくはこちら



地域づくり活動を応援します



市では、地域の活性化や地域活力の維持、課題解決に効果が期待できる取り組み、集落センターでの世代間の交流などを支援しています。各公民館に事業の相談、申請窓口を設けているので、気軽に相談してください。

☎ 地域文化課 (☎64・4834)

	支援制度	対象団体	対象事業	補助率・限度額
結の故郷 地域が輝く交付金	地域活性化事業	公民館単位の各種団体、自治会、市民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加や市民協働を促進する地域づくり事業 地域を活性化する事業など 	<ul style="list-style-type: none"> 対象経費の10分の10 予算の範囲内で交付
	グループ活動応援事業	市民活動団体、有志のグループ		<ul style="list-style-type: none"> 対象経費の10分の10 市内全域を対象とする事業は限度額50万円。地区内を対象とする事業は限度額5万円
	集落内交流事業	自治会、自治会内の社会教育団体	集落センターなど地域住民が集まる拠点で実施する交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象経費の10分の10 拠点の開館日数により限度額が変わります。詳しくは問い合わせてください
	屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし作業者名簿に登録した自治会	地域住民の屋根雪下ろしや除排雪	1自治会当たり2万円
	地域課題解決検討事業	公民館の区域を範囲として区域全体の地域課題解決に取り組む団体	地域の現状や地域づくり活動の取り組み状況の把握、点検など	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象経費の10分の10 予算の範囲内で交付

公民館リレー講座 「大野を学ぼう」

5月から12月までの間、市内公民館が大野の魅力学ぶ講座を開催します。各地区の特色ある講座をたくさん受講して、市内のいろんな魅力を学びませんか。住んでいる地区に関係なく、誰でも受講できるのでぜひ参加してください。

5月 富田フォトウォーク～越美北線と風景写真の撮り方のコツ教えます～

- 日時** 5月21日(土)午前9時～正午
- 場所** 富田地区内(旧蕨生小学校集合)
- 講師** 光映写真館 榊原範夫さん、榊原映一さん
- 定員** 20人
- 持ち物** デジタルカメラまたはスマートフォン、飲み物、歩きやすい服装
- 申込期間** 5月6日(金)～19日(日)
- 申込方法** 電話または専用フォームから申し込む
- ☎** 富田公民館 (☎66・4101)



6月 下庄ウォークラリー 大矢戸区を探検しよう

- 日時** 6月11日(土)午前9時～正午
- 場所** 大矢戸区(下庄公民館集合)
- 講師** 三嶋美智子さん
- 定員** 20人
- 持ち物** 飲み物、歩きやすい服装
- 申込期間** 5月6日(金)～6月10日(金)
- 申込方法** 電話または専用フォームから申し込む
- ☎** 下庄公民館 (☎66・2142)



今後の予定

開催月	講座名	開催地区
7月	黒谷観音の歴史	小山地区
9月	寺月峠ウォーク	五箇地区
9月	和泉の化石講座と発掘体験	和泉地区
10月	乾史跡巡りウォーク	乾側地区
11月	上庄地区の歴史 寺子屋	上庄地区
11月	醤油や味噌、酒店の蔵を巡る	大野地区
12月	郷土料理講座「冬のごちそう」	阪谷地区

イベント・催し

重要文化財「旧橋本家住宅」を一般公開

江戸時代の農家住宅である旧橋本家住宅の一般公開を再開します。
 期間 4月29日(金)昭和の日～11月3日(日) 4月29日(金)昭和の日～11月3日(日)
 困文化の日までの休、回および祝日
 時間 午前9時～午後4時
 場所 旧橋本家住宅(宝慶寺に隣接)
 観覧料 無料
 生涯学習・文化財保護課
 ☎(65・55960)

バードウィーク自然観察会～野鳥と花と樹木の観察会～

毎年、5月10日～16日の1週間は、野鳥保護の普及啓発のために設けられた愛鳥週間(バードウィーク)です。この時期は、野鳥も繁殖のために活発に活動するので、目にする機会も多くなり、森が1年で最もにぎやかになります。そんな森で、野鳥の声や姿、草花、新緑の樹木を観察し、爽やかに気持ちいいひと時を過ごしませんか。
 日時 5月8日(日)午前8時(出発)～11時
 場所 亀山公園(集合場所：亀山南第一駐車場)
 講師 日本野鳥の会会員、県自然観察指導員
 参加料 100円(中学生以下無料)
 持ち物 マスク、飲み物、双眼鏡
 服装 歩きやすい服装、帽子
 申込方法 当日の午前7時30分～7時50分に集合場所で申し込む
 その他 小学生以下は保護者同伴

☎ 日本野鳥の会 福井県事務局 宇野さん
 電子メール wbsj.fukui@gmail.com

認知症や介護の事、お茶を楽しみながらゆっくり話しませんか?

介護や認知症のことだけでなく、不安な事や気がかりな事などなんでも相談できるよう相談も実施しています。お茶を楽しみながら、息抜きや交流をしませんか。専門職のスタッフがおりますので、お気軽にお立ち寄りください。
結のカフェ
 日時 5月8日(日)午前9時30分～正午
 場所 県民せいきょう大野きらめき内容 肩こり、腰痛を楽にする体操
 定員 10人(先着)
 参加料 100円
 持ち物 筆記用具
 申込締切 5月6日(金)
 申込方法 電話または専用フォームから申し込む
 その他 オンラインでの受講も可能です
 ☎ 県民せいきょう大野きらめき ☎(66・1211)



▲申し込みはこちら

オレンジカフェ

日時 5月20日(日)午後1時30分
 場所 和が家(送迎可) ☎69・1108
 に連絡してください
 内容 落語で大笑い
 講師 三結亭翔剛さん
 参加料 100円
 定員 10人
和らぎカフェ
 日時 5月22日(日)午後1時
 場所 大野和光園
 内容 スクラッチアート体験

お知らせ

ごみの第4日曜日受け入れ

日時 5月22日(日)午前8時30分～正午、午後1時～4時30分(5月3日(日)憲法記念日～5日(日)困ごものは受け入れできません)
 ※少量のごみはごみステーションへ出してください
 場所 ビュークリーンおくえつ
 大野・勝山地区広域行政事務組合 ☎(66・66960)

市有地売却のお知らせ

市有地を一般競争入札により売り払います。
物件1
 所在地 美川町211番
 登記面積 1466.08平方メートル
 用途地域 準工業地域



詳しくはこちら▶

5月2日(日)～31日(日)入札参加要領の配布

※入札参加要領は財政経営課(市役所2階23番窓口)で配布するほか、ホームページからもダウンロードできます
5月16日(日)～24日(日)質問受け付け
 最低売却価格や土地の状態などを説明します

参加料 100円
 ☎ 健康長寿課 ☎(65・5046)

みんなで登ろう！飯降山市民登山

日時 6月4日(日)午前9時集合、午後3時頃解散(小雨決行)
 集合場所 ショッピングモールVio 駐車場(南側)
 内容 「おたけさん」の名で親しまれる飯降山に登ります。飯降登山口から入山、山頂で昼食後、尾根伝いに天空の城の撮影スポットを経て鉄掛に下山します
 定員 30人
 参加料 500円(保険料含む。当日徴収)
 持ち物 願い事を書いた小石三つ、雨具、手袋、タオル、飲み物、弁当、行動食(チョコレート、あめなど)、ごみ袋、保険証、マスク
 服装 動きやすい服装(長袖、長ズボンなど)、登山靴または運動靴、帽子
 申込方法 住所、氏名、生年月日、電話番号を電話で申し込む
 申込締切 6月1日(日)午後5時
 ☎ スポーツ推進課 ☎(65・5592)
 大野親岳会 石橋さん ☎(090・8263・3063)

人権啓発講演会 笑いでコミュニケーションづくり～知らなかったではダメ！

腹話術と小噺を織り交ぜながら、身近な話題を通して、人権の大切さやコミュニケーションづくりの方法を楽しく学びます。
 日時 6月4日(日)午後1時～2時30分
 場所 結とぴあ

講師 笑福亭学光さん(落語家)
 対象 市民
 定員 120人
 参加料 無料
 申込方法 電話または参加申込書
 申込締切 5月31日(日)
 ☎ 生涯学習・文化財保護課 ☎(65・55960)

クリーンアップふくい大作戦～ふくい海ごみゼロチャレンジ2022～

海岸に流れ着くごみの中には、「海ごみゼロ」を達成するため、清掃活動にご協力をお願いします。
 日時 6月5日(日)午前8時～(受け付けは午前7時30分)
 場所 真名川憩いの島
 参加料 無料
 申込方法 電話で申し込む
 服装 動きやすい服装(長袖、長ズボン、長靴など)
 その他 ごみ袋、軍手は用意します
 ☎ 市漁業協同組合 ☎(66・1230)

第32回わんぱく相撲おおの場所参加者募集

日時 6月5日(日)午前8時～午後5時
 場所 エキサイト広場
 対象 市内の小学1～6年生
 参加料 無料
 申込方法 各学校の担当教員に申込書を提出
 申込締切 5月6日(日)
 ☎ わんぱく相撲実行委員会 事務局 森田さん ☎(090・8968・5804)

募集

市営住宅などの入居者募集中

募集物件	対象	募集戸数	受付期間	問い合わせ先
高齢者向け賃貸住宅	60歳以上	コーポ花山(牛ヶ原)	随時	光明寺福祉会 ☎(65・7132)
		コーポめいりん(明倫町)		
市営住宅	制限内の世帯所得	5階1戸(3DK)	5月2日(日)～13日(日)	交通住宅まちづくり課 ☎(64・4815)
定住促進住宅	移住者 子育て世帯 新婚世帯	3階1戸(3DK)		

※1 家賃は収入に応じて変動します ※2 それぞれ入居条件があります。詳しくは問い合わせてください

新規登録店も随時募集中!!

【登録可能店舗】市内に事業所のある小規模店舗
 ※小規模店舗とは次の①～③全てに当てはまる店舗
 ①県内に本社があり、市内に事業所のある企業または個人事業主
 ②1店舗当たりの売り場面積が1000平方メートル未満
 ③15店舗以上を展開するチェーン店に加盟していない
 ※経営主体全体で小規模事業者に該当する場合は、「おおの割」の取り扱い対象となります
 ☎ 「ふく割」事務・コールセンター ☎(0776・97・8745)
 「ふく割」ホームページ https://fukuwari.com/



2000円以上の買い物で500円を割引 電子クーポン「おおの割」発行中!!



対象店舗 「ふく割」ホームページから確認してください
 使用方法 ①スマートフォンに「ふく割」のアプリをダウンロードし、「おおの割」を取得する
 ②対象店舗で2000円以上の買い物をした際に、レジでクーポンを提示すると500円分の割引引きが受けられる
 発行開始日 4月28日(日)
 その他 5月の毎週日、ショッピングモールVioにアプリのインストールや「おおの割」の利用方法などについての相談窓口を設置します

おおの 子育てつうしん



SDGs目標 No.3.すべての人に健康と福祉を

保育所・認定子ども園 開放日(未就園児)

- ☆公立保育所開放(ほのぼの広場)※要申込(各園3組まで)
日時：17日(前)9:30~11
場所：公立保育所(あかね・荒島・阪谷・和泉)
- ☆民間保育所開放(上段は見学日、下段は開放日です)※要申込
いとよ保育園 毎週(前)金前9:30~11
いとよこ広場 26日(前)10~11
- ☆認定こども園開放(上段は見学日、下段は開放日です)※要申込
 - いなやまこども園 毎週(前)金前10~11
なないろ広場 16日(前)10~11※好きな遊び、保育教諭による子育て相談
 - いなほこども園 毎週(前)金前10~11
なないろ広場 9日(前)10~11※好きな遊び、保育教諭による子育て相談
 - 大野幼稚園 毎週(前)金前9:30~11:30
きらきらClub 毎週(前)金前9:30~11:30※親子ふれあい遊び、絵の具遊び、絵本の読み聞かせ、保育心理士による子育て相談、園児との交流遊び
 - 開成こども園 毎週(前)金前9:30~11
にこにこ広場 11日(前)9:30~11※園児との交流遊び
 - 上庄こども園 毎週(前)金前9:30~11
ころころ広場 12日(前)9:30~11※広場で遊びましょう、主幹保育教諭による子育て相談
 - 亀山こども園 毎週(前)金前10~11
かめさん広場 25日(前)10~11※戸外遊び
 - 篠座こども園 毎週(前)金前10~11
子育て広場 25日(前)9:30~11※いちご狩り
 - 誓念寺こども園 毎週(前)金前9:30~11
なかよし広場 12日(前)・21日(前)9:30~11
 - 誓念寺中野こども園 毎週(前)金前9:30~11
なかよし広場 7日(前)・26日(前)9:30~11



◎祝日・休日の場合を除く。詳しい内容は、各園に問い合わせてください

集まれおおのっ子 ひとり親家庭等学習支援事業

ひとり親家庭などの小中学生が参加できる学習会です。宿題で分からないところや、つまづいているところを習うことができます。

日時 7日(前)、14日(前)、21日(前)午前9時30分~11時30分※日程が変更になることもあります

場所 旧アドバンススクール(神明町1107番地)

その他 学習会に参加を希望する人は、こども支援課まで申請書を提出してください。申請書はホームページからダウンロードできるほか、こども支援課にもあります。郵送でも受け付けています

☎ こども支援課(☎64・5140) 大野市母子寡婦福祉連合会(☎65・0360)



児童デイサービスセンター くれよん教室

児童デイサービスセンターでは、ことばや発達などが気掛かりな子どもの相談や療育を行っています。いつでも問い合わせてください。

- ♥子どものことばや育ちの相談(要申込)
日時：随時開催 前9~後5
- ♥子どものからだところ専門医による相談(要申込)
日時：25日(前)後2~5

☎ 児童デイサービスセンター (結とぴあ内☎65・8535)



▲詳しくはこちら

ちっく・たっくの行事予定

ちっく・たっくは親子で参加できる子育て交流ひろばです。ショッピングモールVioで、定休日を除く毎日開いています。(前10~後6)

【定休日】11日(前)・18日(前)・Vio定休日 ☎ ☎66・3775



詳しくはこちら
(ちっく・たっくホームページ)

- ♪子育て塾~マイスターによる身体測定と育児相談
※要予約。母子手帳を持参してください
日時：14日(前)10~正午
場所：ちっく・たっく(Vio内)
講師：福井高等学校 衛生看護科教員 藤井千代美さん
- ※今月のお話「育児に生かそう成長・発達」
- ♪いちご狩り
月日：5月下旬
集合：新鮮館おおのインター店(9時出発)
場所：富田地区
持ち物：ザル、ビニール袋、長靴、飲み物
参加料：300円(保険料を含む)
- ♪リトミック
※要予約・限定6組
日時：26日(前)10:30~11:30
場所：ちっく・たっく(Vio内)
講師：フルーツ奏者 辻由記子さん

子育て支援センターの行事予定

子育て支援センターは、子育てをしているおうちの人なら、どなたでも利用できます。

毎月2回 土曜日半日開いています。(第1・第3土曜日)※変更になる場合あり

☎ 地域子育て支援センター(結とぴあ内)
☎65・7188 Eメール kosodate@city.fukui-ono.lg.jp



▲詳しくはこちら

- ☆遊びの広場(たんぼぼ広場)
対象：乳幼児とその保護者
日時：毎週(前)~(前)9~正午、後1:30~4
7日(前)と21日(前)9~正午
場所：地域子育て支援センター(結とぴあ内)
- 【誕生会】23日(前)10:30~11※誕生児は要申込
- 【ママヨガ】24日(前)11~ 講師：ヨガ教師 飛石めぐみさん※要申込
- 【絵本】26日(前)11~
- 【はさみでちよきちよき】30日(前)9~ 父の日のプレゼント製作(1時間ごとに7人ずつ)※要申込
- ☆育児相談(電話・面接・メール・Zoomで受け付けています)
日時：毎週(前)~(前)9~後5
場所：地域子育て支援センター(結とぴあ内)
※Zoomでの相談を希望される人は、相談日などをご案内しますので、市の公式LINEで気軽に申し込んでください
- ◎子育て支援センターの行事予定表“あそびにおいで!”は市のホームページや公式LINEからも見られます

ふるさと大野今昔物語



村立託児所：昭和20年代撮影
下庄地区の中野にある唯教寺は、かつて下庄村の村立託児所となっていました。たくさんの子もたちが輪になって手をつなぎ、お遊戯をしています。
(提供者：吉田多輝子さん)



栄養料理の講習：昭和42年撮影
県の移動バスで、栄養料理の講習をしています。バスの中には調理器具が設置されていて、専門の栄養士が女性に栄養豊富な料理の作り方を伝授しています。
(提供者：尾花とみ江さん)

大野の歴史・文化・伝統を記録した写真などを収集保存しています。家庭に古い写真などを持っている人は、ぜひ連絡してください。皆さんの協力をお願いします。
☎ 生涯学習・文化財保護課（学びの里「めいりん」内）☎65・5590



アウトドアでの火災に注意しましょう

これから暖かい季節になり、大型連休を利用して友人や家族とキャンプやバーベキューなどを楽しむ人が増えてきます。楽しいアウトドアも、火の取り扱いを間違えると火事などを引き起こす危険があります。



次のポイントを守り、安全にアウトドアを楽しみましょう。
☎ 消防署予防課 ☎64・4899

■ アウトドアで火災を防ぐポイント ■

- ①火を付けたまま炭やたき火から離れない、眠らない
- ②炭やたき火の近くには、燃えやすいものを置かない
- ③炭を消火するときは、水を張ったバケツなどに浸したり、火消しつぼを使ったりして、内部の火種まで消火する
- ④薫製器や薫製用のチップを使用するときは、取扱説明書に書かれた使用方法を守る
- ⑤火を付けた後に着火剤を継ぎ足さない
- ⑥カセットこんろを2台以上並べて使用しない
- ⑦カセットこんろで炭の火おこしをしない
- ⑧カセットボンベは、火の近くや直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない
- ⑨テントの中や閉め切った小屋など、換気の悪い場所でバーベキューやたき火をしない
- ⑩風が強い日はバーベキューやたき火をしない

消防団員募集中

消防団員を募集しています。市内在住または市内に勤務している18歳以上の人なら、誰でも入団できます。詳しくは問い合わせください。
☎ 消防署警防課 ☎64・4898

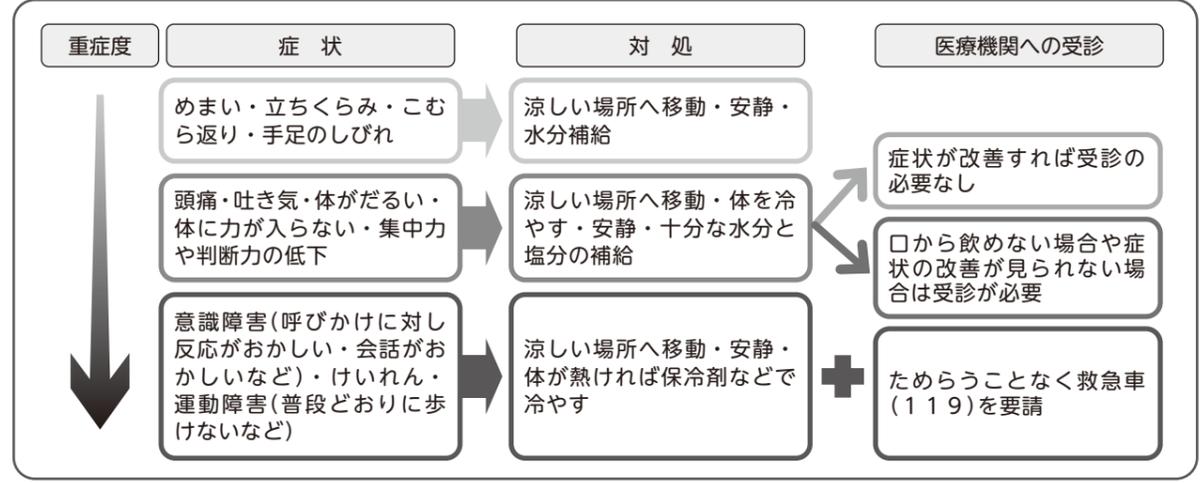
熱中症対策は5月から

気温や湿度が高い中で、体を動かすと、汗が大量に出て体内の水分が少なくなり、体から熱が出にくくなります。その結果、体温の上昇やめまい、けいれんなどの症状が起きることを熱中症といいます。
気温が低い日でも湿度が高いと、屋内でも熱中症を引き起こす可能性があります。
熱中症は、真夏に限らず、5月ごろから発生します。こまめな水分補給や十分な睡眠などで熱中症を予防しましょう。
☎ 消防署警防課 ☎64・4898

熱中症予防のポイント

- ・のどが渇いていなくてもこまめに水分と塩分を補給する
- ・睡眠と食事をしっかり取り、体調を整える
- ・熱中症警戒アラートが出ているときは外出や運動を控える
- ・エアコンや扇風機を利用する(使用中も換気をする)
- ・人と距離をとり、マスクを外して休憩する

熱中症の分類と対処方法



読書のススメ



みんなの図書館

- 新着図書**
- 『ノンフィクション』
音読したい偉人たちの最期のことは(齋藤孝)▼ワルマでふらりと道の駅(浅井佑二)▼酵母 文明を発酵させる菌の話(マナー)▼70からはメリハリ元気で自然な暮らし(沖幸子)▼聞き出す力(近藤勝重)
- 『ライクシオン』
コンクールシエフー(五十嵐貴久)▼看守の信念(城山真)▼ヒノマル(古市憲寿)▼花屋さんが言うことには(山本幸久)▼編集者とタブレット(フルネル)
- 『児童書ノンフィクション』
図解はじめて学ぶみんなのお金(レイノルズ)▼ちがいがわかるおもしろい! 東日本と西日本(岡部敬史)▼じぶんでもめるとりずかん(成美堂出版編集部)▼ふしぎの森のふしぎ(ラフッテン)
- 『児童ライクシオン』
妖怪の子預かります1〜10(廣嶋玲子)▼保健室経由、かねやま本館。3〜4(松素めぐり)▼ライトニング・メアリ(シモンズ)▼荒野にヒバリをさがして(マゴウワン)▼みつばちさんのティールーム(シエイ)



荒井 祥恵さん(国時町・37歳)

名古屋市出身の荒井さんは、4月に本市の地域おこし協力隊に着任しました。

荒井さんは今後、県猟友会大野支部の会員として市などと連携し、有害鳥獣の捕獲や追い払い活動の補助をしていきます。荒井さんに本市の地域おこし協力隊になったきっかけや今後の目標などを聞きました。

—本市の地域おこし協力隊になったきっかけは
もともと移住先を探していて、狩猟にも興味を持っていました。インターネットで、大野市ホームページの移住定住の情報を見つけ、大野市が有害鳥獣対策の分野で地域おこし協力隊を募集していることを知り、応募しました。

—どうして狩猟に興味を持ったのですか
大野市に来る前は、山梨県南アルプス市の北岳の山小屋でスタッフとして働き、絶滅危惧種のライチョウを保護するためのわなの設置や見回り活動のお手伝いをしていました。その中で、狩猟に対する興味が湧き、詳しく勉強して自分でも実際に狩猟してみたいと考えるようになりました。

—本市の印象は
協力隊の着任前にも何度か大野市に来たことがあります。荒島岳に登ったり、道の駅九頭竜に行ったり、九頭竜湖で釣りをしたりし

こんにちは

ました。当時はそこが大野市ということは意識していなかったのですが、自然が豊かな場所という印象がありました。今住んでいる家もベランダからドンっと山が見え、景色が素晴らしいっていいなと思います。

また、名古屋市に住んでいた時は、どこもかしこも車の交通量が多かったですが、大野市は交通量が少ないので、移動のストレスが少なそうでした。

—アウトドアが好きと聞きましたが
キャンプや釣り、登山などが好きです。着任前までに大野の山で登ったことがあるのは荒島岳のみでしたが、4月に銀杏峰に登りました。今年中に大野市の観光パンフレットに載っているような山は全部制覇してみたいです。

—今後の目標を教えてください
せっかく自然が多いところに来たので、とにかく外にたくさん出て仕事がしたいと思っています。また、山の中のさまざまな動物に関わることになるので、動物の行動や習性を覚えて、足跡なども見分けられるようになります。

地域おこし協力隊の任期終了後についても、まだ漠然とはしていますがいろいろやってみたいアイデアがあります。例えば、道の駅でキッチンカーの出店などができればと思っています。農業や山関係でも、大野を盛り上げられる取り組みをしてみたいです。

自然大好き！アウトドア系地域おこし協力隊員

動物の行動や習性を覚え、狩猟に生かしたい

広告

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円)
2枠2万円)

問い合わせ先
秘書広報室
(☎64・4825)

ぐるーぷ登場



夜のプールサイドを水色、ピンクに彩る幻想的なイルミネーション。ロビーに設置されたチョークで描かれた天使の羽根のフォトスポット。
2021年度B&G財団PR大賞のおもてなしの部で、全国5067点の応募の中から、大野市B&G海洋センターの取り組みが優秀賞に選ばれました。この取り組みは、企画提案から実施まで、上庄中学校女子バスケットボール部の3年生(当時2年生)の井口稔麻さん、石黒あおいさん、嶋田彩乃さん、西川守望さん、林結愛さん、廣瀬聖月さんの6人の手によって作り上げられました。
大野市B&G海洋センターで6人が部活動をしてきた時、海洋センターの職員に、プールとロビーの様態替えの協力を依頼されたのがきっかけ。プールの利用が増える夏休みに合わせて、4月から準備を進めました。作業最終日には長時間にわたって作業に没頭したそうです。
小学生のころから同じクラスの6人はチームワークも抜群。思いついたアイデアをどんどん口にして実現していききました。特に苦労したのはイルミネーションのライトの設置。たくさん人の配線に注意しながら、イル



ミネーションがきれいに見えるよう配置を試行錯誤しました。プールのイルミネーションは、見ると気持ち安らぐと、SUPOガの利用者にも好評でした。ロビーのフォトスポットも写真を撮りたがる子どもがたくさんいて、大人気でした。
6人の取り組みをサポートした海洋センターの職員は「大人では思いも寄らない中学生らしい斬新なアイデアを形にしてくれた」と話しました。
顧問の寺西裕美先生は「地域の役に立つ素敵な取り組み。後輩にも取り組む子が増えていって、地元を愛する子が増えていってほしい」と話しました。
この取り組みは今年度も実施される予定です。6人は「幅広い年代の方たちが笑顔で楽しんでもらえるようなことを企画できれば」と意気込みを語りました。



市民のページ



あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は
秘書広報室まで ☎64・4825

広告



大野の水がおいしい理由は？ 大学と連携した地下水に関する研究成果報告会

3月20日、市役所で「大学と連携した地下水に関する研究成果報告会」が開催されました。

同報告会は、これまで市と連携し地下水研究に取り組んできた四つの大学が、調査結果を市民に報告し、健全な水循環の重要性などを知ってもらうために開催したもので、来場者は興味深く聞き入っていました。

基調講演を行った香川大学の中野孝教客員教授は「大野の水がおいしい理由は、水温が低く、二酸化炭素が溶けて生じた炭酸が土や石からカルシウムなどのミネラル成分を取り込むため」「健全な水循環の実現には、気候変動にも目を向け調査と学習が一体となった取り組みが必要」と話しました。

越前おおの学びの里使節が 4年間の活動を報告

3月23日、自治体入試制度で本市から推薦を受け「越前おおの学びの里使節」として法政大学で学んだ笹島朋香さんが、大学を卒業するに当たり、オンラインで4年間の活動報告を行いました。

笹島さんは、卒業論文のテーマとしたワーケーション（「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を合わせた造語）の事例を紹介し、ワーケーションによって移住・定住のきっかけになることや地域での起業促進につながるることについて説明していました。



大野市民の笑顔を1枚絵に 市役所にモザイクアートを展示

3月23日、市役所市民ホールで、大野ライオンズクラブが制作したモザイクアートの除幕式が行われました。

モザイクアートは、縦2.7メートル×横4.8メートル、大野市民2503人の笑顔の写真を組み合わせ、満開の桜と越前大野城を表現しています。

大野ライオンズクラブの藤堂規行会長は「モザイクアートは、コロナ禍で落ち込んでいる市民の気持ちをなんとかかしたいと思ったことがきっかけ。3万2000人の大野市民の笑顔を集めて何かの形にした

と思った。笑顔といえば、平和、友好、幸せの象徴。笑顔でコロナウイルスをやっつけよう」と話していました。モザイクアートは、5月から平成大野屋2階で展示されます。また、第2弾として刈込池の風景のモザイクアートを秋頃に制作予定とのことです。

「おおの遺産」新たに2件追加 「お箸始め」と「深井の講」

3月23日、結とびあいで、結の故郷伝統文化「おおの遺産」認証書交付式が開催され、川合区の「お箸始め」と深井区の「深井の講」が新たに認証されました。

「お箸始め」は、川合区の住民が毎年1月1日に道場に集まり、御酒と雑煮を口にする伝統行事で、大正初期には行われていたとされています。

「深井の講」は、深井区で行われる「観音講」「庚申講」「二十三夜講」の三つの講からなる伝統行事です。集落内の観音堂で御詠歌をあげたり、ふれあい会館で読経したりしています。

川合区の新井基衛さんは、「昔と違い人は減ったが、帰省している人なども参加するので60人前後が集まる。今後も行事を大事にしながら継続していきたい」と話しました。

深井区の富田富士夫区長は「深井の講は、私が子どものころには、既に行われていた。これまでの参加者は女性が多かったので、女性陣に習いながら今後も行事を続けていきたい」と話しました。



福島県相馬市へ職員2名派遣

4月1日、市役所で、令和4年福島県沖地震で被災した福島県相馬市に派遣される職員2名の激励式を行いました。

相馬市への職員の派遣は平成25年に締結された「災害時相互応援協定」に基づくものです。派遣される職員2名は現地で建物の損壊状況を調査するなどの罹災証明業務に当たります。

山本主査は「現地の方の一助となれるよう頑張る」、佐野企画主査は「相馬市民が落ち着きを取り戻すお手伝いができればと思う。今日の激励は相馬市民3万3000人への激励として届けたい」と意気込みを語りました。

HOROSSA!に 恐竜モニュメント2体が登場

4月17日、大野市化石発掘センターHOROSSA!で、新たに制作された恐竜モニュメント2体のお披露目式が開催されました。

モニュメントは、フクイラプトル（高さ2.7メートル×長さ4.7メートル）と、ディロング（高さ1.45メートル×長さ2.15メートル）の2体。ディロングは初期のティラノサウルス類の代表種で、本市下半原で国内最古級のティラノサウルス類の歯化石が発掘されたことにちなんで制作されました。

モニュメントを覆う幕が下ろされると、子どもたちは興味津々の様子で近づいて見入っていました。モニュメントは、今後同センターに常設され、来場者を迎えます。



和泉地区には、古生代から中生代のさまざまな地層があります。特に、約4億年前のデボン紀と呼ばれている時代の化石は、全国的にも産出されることは珍しく、貴重なものです。古生代の地層が広がる和泉地区の伊勢は、古くからデボン紀の化石産地として知られており、この時代を特徴づける三葉虫やハチノスサンゴなどの化石が発見されています。そんな古生代の化石に魅せられた、一人の男性がいます。

古生代の魅力を伝えたい

化石発掘体験センターHOROSSA!のチーフディレクターとして働く山本久大^{ひさひろ}さんは、古生代の化石を愛する大野人^{おののびと}です。

小学生の時に参加した和泉地区の化石発掘体験をきっかけに化石の魅力に引き込まれ「大野市の古生代の研究に貢献したい」と、大人になってからは仲間とともに伊勢で調査活動を行っています。

「特に三葉虫は現代の生き物とは全く違う不思議な外見をしています。化石を探すことで太古の海とそこに暮らしていた生き物の姿を知ることができます」と古生代の化石の魅力を熱く語りました。



化石を探す山本さん

山本さんは古生代の貴重な化石をたくさん発見しているんだって！博物館に展示されるのが楽しみだな！



市民のうごき

令和4年4月1日現在(前月比)

世帯数	1万1596世帯 (-3世帯)
人口	3万1358人 (-133人)
〈男〉	1万5041人 (-59人)
〈女〉	1万6317人 (-74人)

◆3月中の内訳

転入	120人	出生	9人
転出	208人	死亡	54人

今月のスナップ



夜間広報巡回へ出発する消防団車両

4月8日の大火記念日に消防団夜間広報巡回が行われました。各分団から集結した消防団車両が一斉にサイレンを鳴らし出発する様子はまさに圧巻。また、消防団員の皆さんの規律正しい敬礼動作を見て、こちらも身の引き締まる思いとなりました。
アウトドア活動がしやすい季節となりましたが、火災には注意して、楽しい時間を過ごしてください。

編集後記



「理不尽」という言葉がある。辞書によれば、「理」は物事の筋道・道理を示し、「不尽」はつくさない・つきないという意味である。したがって「理不尽」とは道理には合わないこと、筋が通らない、矛盾しているということになる▼ロシアによるウクライナ侵攻は、まさしく理不尽としか言いようのない一方的なものであり、連日民間人も含めた多くの犠牲者が出ている。どのように大義を叫んでも、戦争は殺りくであって、憎悪しか生み出さない▼仏教の最も古い経典であるパーリ語聖典に、釈迦は次のように語る。「すべての者は暴力におびえる。全ての生き物にとって生命は愛しい。己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ。」と▼仏教徒の必要最低限の生活規範である、五つの戒め(五戒)の冒頭は、「不殺生」である。その背景には、釈迦の祖国が、当時のインドの強国コーサラ国によって侵攻され滅んでいる悲劇もあるのであろう▼連日報道される映像から、銃を持つロシアの兵士の一人一人にも家族があるだろうにも思うし、攻撃に逃げ惑う人々の姿を目の当たりにして、遠く離れた私たちに何が出るのかを問う時、何も出来ない無力な自分がある。せめて、不条理な殺戮と憎悪の連鎖の愚かさを訴え続けていくしかない(K・K)